

高知研修レポート

- ・日時 令和元年 11 月 26 日～27 日
- ・場所 高知県長岡群大豊町川口 2035 番地 1
- ・概要 高知おおとよ製材株式会社
資本金 97,000 千円
工場敷地面積 鉄骨平屋建（延べ面積）10,717 m²
創業開始 平成 25 年 8 月



設計 塚田 陽子

◆11 月 26 日

高知県庁（林業振興・環境部）訪問

12 月セミナーの打合せで県庁のかたを交え JAS 認定のヒノキ材の訴求についての意見交換、県をあげての取り組みをさせている事が伝わりました。



◆11 月 27 日

高知おおとよ製材株工程ごとに説明受けながらの研修



森林法により資源管理（55 年）された桧が一日 30 リッポウ搬入され、大きさ長さにより製材工程を分け、製材工程に入ります。

桧の柱としては 16 cm 前後が最適で機械により一本の材から適した切出しが行われる。

機械工程で一連の作業がおこなわれるが途中経過や最終チェックは目視確認が入り入念にチェックされます。また曲げヤング係数 E110 以上の計測も製材中に行われます。

- ・ 数値比較による桧材の優位性

J A S（日本農林規格）認定基準	含水率 20% 以下	曲げヤング係数 E50 以上
J A S（日本農林規格）日栄基準	含水率 15% 以下	曲げヤング係数 E110 以上



高温乾燥機により桧材（4～5日）杉材（7日）かけ乾燥していく、ドライングセットといい
い木材の表面に急速に熱を加える事により内部亀裂を防ぐ事ができるため、背割れをいれ
ず製材後のくるいが少なく安定した性能を保つ事が出来るようになりました。

乾燥機内は1000本の製材された桧が入り5本のセンサーで熟練の作業員が判断しながら熱
を加え含水率15%になるように乾燥していきます。



こうした作業をへて日栄商事用の印字が入り、お客様へ均一でJAS認定基準の中でも最高
品質の材料が標準指標であり事は特出した希少性がある事が研修で再確認できました。

感想

今回研修をさせて頂き桧材を構造体になっている強みや今後もさらに無垢材で構造を強化
していくためにどうしたら良いかなどの意見意見交換がされるなど日々勉強が必要だと自
分自身感じ、また県庁の方も材木への愛情と品質へのこだわりを感じとても勉強になり
ました。